

## 第5回大阪地方会 活動報告

平成27年11月14日（土）

於：府中病院 地下1階 セミナーホール

平成27年11月14日（土）府中病院 セミナーホールにて、第5回大阪地方会を開催しました。当日は、会員17名、非会員21名の合計38名の方にご参加いただきました。大阪府以外で遠方の方々も多く参加いただき大変感謝しております。

はじめに、西川支部長から、当会の活動報告と「皆さんの志の高さを資格化に繋げたい！！」と熱い思いが語られました。



続いて、『放射線の検査で何を診る！？』と題して、府中病院 放射線室技師長補佐 竹中賢一先生から、日頃、私たちが疑問に思っていることや知っておくべきことな

ど、わかりやすく説明いただきました。

医用画像は、アナログからデジタルへ進化しており、放射線領域における技術が大きく変化してきたこと、デジタル化により撮影後の画像に対し様々な画像処理が可能となり、より臨床に役立つ画像の提供ができ、その画像がどのようなものなのかを学びました。また、医師が指示した検査を実施するだけでなく、患者様の状態により同じ検査でもベストな撮影方法を選択し、診断に繋がっていることが確認できました。

講演終了後は、会場の皆さまから多くの質問があり、今回も知識が向上した勉強会であったことは、参加者の皆さまのアンケート結果から伺えました。

後半は、1グループ6名～7名の6グループにわかれ、『診療支援に関すること』『マニュアルに関すること』『データについて』『文書作成支援に関すること』のテーマでグループディスカッションを行い、最後に内容を発表いただきました。





グループ毎に業務内容と、今後の自施設で活かせることについての発表がありました。その他には、人員配置や雇用形態、医師・看護師との関わり方などが課題であると挙げられました。まだまだ、医師事務作業補助者の認知度が、院内外共に十分ではないため、他職種との関わりや施設内での役割分担に課題が多いとの発表でした。

他の施設の課題・取り組みなどを、意見交換や発表で知ることができ、ディスカッションは有意義な時間で勉強になりましたとアンケートに多くいただきました。

今後も、多くの情報を得ていただくだけでなく、多くのネットワークを築けるグループディスカッションにしていきたいと思えます。

最後に、府中病院病院長の竹内一浩先生より、今回府中病院で大阪地方会が開催されたことへの感謝と、皆さんの熱心さに感銘を受けたとの挨拶をいただきました。以前は、手術が終わって医局に戻ると山のような書類やサマリなど事務業務に頭を悩ませていたが、今は医師事務補助者の方が作成してくれることに大変助けられている。また、皆さんの活躍が医師のパフォーマンスにつながり、医療の質・経営の質向上につながっている。医師事務作業補助者の方々の力は非常に大切であるとの励ましのお言葉をいただきました。



大阪府支部では、これからも皆さまが気軽に参加でき、交流を深めることができる場の提供を心がけていきます。そして皆様からいただきましたご意見をしっかりと受け止め、今後の地方会開催に活かしていきたいと思っております。

また、当研究会は医師事務作業補助者を資格化にしたいと考えています。資格化に繋げるには、職能団体として社会に認められる必要があります。当研究会の趣旨や活動に賛同いただける方に一人でも多く会員になっていただき盛り上げていきたいと考えています。

医師事務作業補助の実務者の方々の更なる成長を目指して活動を行ってまいりますので、今後共ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回の地方会にご参加いただきました皆様、準備段階からご協力いただきました全ての皆様方に、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

NPO 日本医師事務作業補助研究会  
大阪府支部 副支部長 事務局  
府中病院 堀田 恵